

住友林業とIHIによる「熱帯泥炭地コンサルティング」と「質の高い炭素クレジット」の事業化に向けた提携への参画

明星電気株式会社（本社：群馬県伊勢崎市，代表取締役社長：池山正隆／以下，明星電気）は，住友林業株式会社と株式会社IHIが2021年6月18日に締結した「森林管理コンサルティング事業」と「自然資本の価値を最大化する持続可能なビジネスの開発」に向けた業務提携契約において，気象情報や泥炭地の地下水位情報を地上で計測できる泥炭地情報観測機器を開発および提供する役割をもって参画いたします。

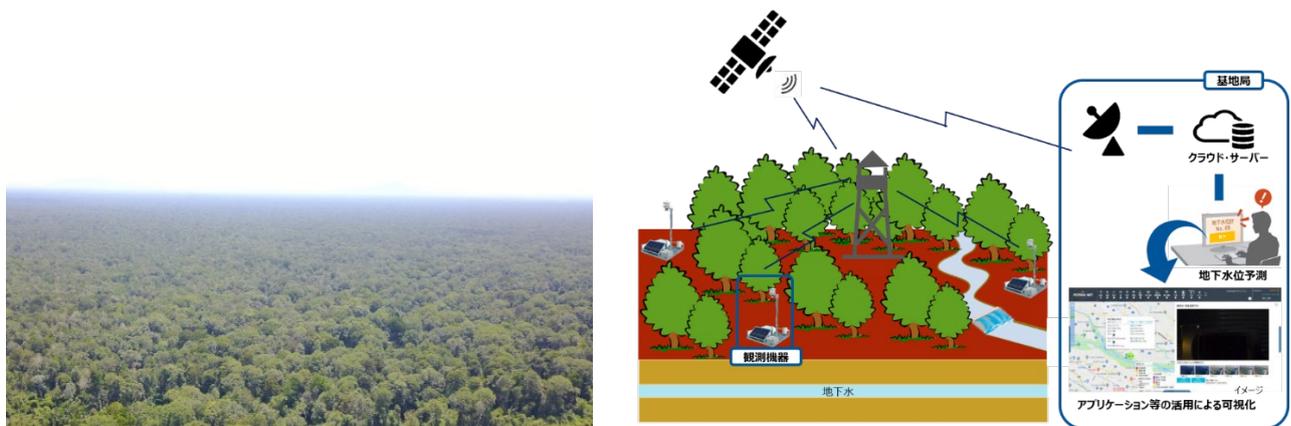
日本気象庁のアメダスなど長年にわたる気象観測器の開発実績により培われた技術力を活かし，当該業務提携で目指す熱帯泥炭地^{※1}を適切に管理するコンサルティング事業の実現や自然資本^{※2}の価値を適切に評価することによる質の高い炭素クレジット^{※3}の創出，販売に資する最適な機器を開発し，提供することを期待されております。

- ※1 熱帯泥炭地とは…植物の遺骸が水中で分解されずに堆積してできた土壌。
- ※2 自然資本とは…例えば森林が，二酸化炭素を吸収し，水をきれいにするように，価値のあるサービスを生み出すストック（資本）としての自然。
- ※3 炭素クレジットとは…取引可能な温室効果ガスの排出削減量証明。排出量を企業間や国際間で流通するときに，クレジットとして取り扱われ，その取引単位は，1t-CO₂。

明星電気は当該業務提携への参画を通じ，インドネシアをはじめとする熱帯泥炭地を有する国々に当社の技術を普及させることにより，持続可能なカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

【住友林業×IHI プレスリリース】

https://www.ihico.jp/ihico/all_news/2021/aeroengine_space_defense/1197434_3351.html



(住友林業がインドネシアで管理する熱帯泥炭地の保護区)

(地下水位予測システムイメージ図)

問い合わせ先：明星電気株式会社 総務人事部 広報・IR担当
TEL：0270-32-1111 E-Mail：cs@meisei.co.jp